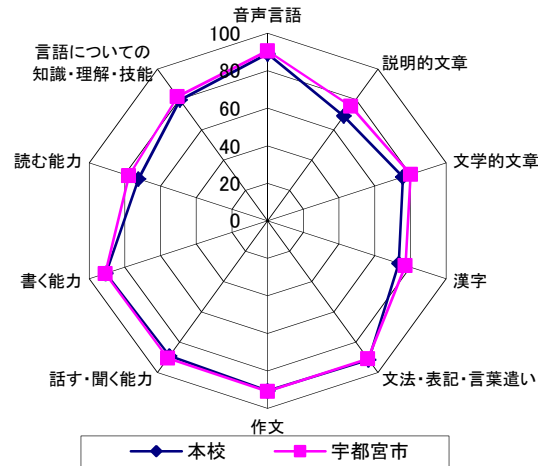


宇都宮市立瑞穂野中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.0	90.6
	説明的文章	69.1	75.5
	文学的文章	75.7	80.2
	漢字	73.6	77.2
	文法・表記・言葉遣い	91.6	91.0
	作文	90.7	90.9
観点別	話す・聞く能力	89.0	90.6
	書く能力	90.7	90.9
	読む能力	72.4	77.8
	言語についての知識・理解・技能	79.6	81.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.0%)	宇都宮市の平均を若干下回っているものの、正答率はほぼ9割に達している。「話の趣旨の聞き取り」は3. 2ポイント市を上回り、「話の展開の聞き取り」は6. 3ポイント下回っている。	「話すこと・聞くこと」の学習では、内容をとらえればいいのではなく、文章や話の構成・論理の展開にも注意させたい。
説明的文章 (69.1%)	正答率が7割に達せず、宇都宮市の平均からも6. 4ポイント下回っている。特に「文章に即した内容の理解」では筆者の主張を読み取る問題での正答率が5割を割った。	選択肢として内容の正確さより平明な文章のものを選んでいる傾向があり、「説明的文章」の読解における語彙力を向上させる必要がある。
文学的文章 (75.7%)	正答率は宇都宮市の平均から4. 5ポイント下回り、「語句の補充」においては、誤答の傾向からみて、細部の読み取り不足や、読解のポイントになる言葉に気づいていないことなどがうかがえる。	「文学的文章」の読解においては、あらすじをたどったり発言のみ注目するのではなく、動作や情景にも注意を払う読み取りが必要とされる。
漢字 (73.6%)	宇都宮市の平均から3. 6ポイント下回り、読み取り・書き取りともに全学年の漢字で下回っている。	漢字の書き取り練習が不足している。授業の中で新出漢字の学習を十分に行うとともに、意味調べや熟語集め、短文づくりなどの学習活動を積極的に取り入れたい。
文法・表記・言葉遣い (91.6%)	正答率は宇都宮市の平均を若干上回っている。「助動詞の識別」では2. 4ポイント下回っているが、「敬語」では2. 6ポイント上回り9割を超える正答率である。	「敬語」に関しては日常生活の中で意識的に実践している生徒も多いが、文法に関しての意識は高くはない。主体的に学習できるような工夫をするとともに、学習事項を整理させ、実践的練習問題に取り組ませたい。
作文 (90.7%)	正答率は9割を超え、宇都宮市の平均とほぼ同じである。「副詞の呼応」での正答率が88%と9割を割った。	体験文や意見文だけでなく、短作文を取り入れる機会を増やし、より正確な表現への意識付けを行いたい。